



鋭いバックハンドドライブを放つ本田さん

輝いています

全国高校選抜卓球大会シングルス ベスト8

ひと

ほんだ つかさ
本田 司 さん

果敢に挑戦し全国の舞台へ

3月に開催された第49回全国高校選抜卓球大会の男子シングルスで浦和南高校3年生の本田司さん(17歳・北町5丁目)がベスト8に入賞。自身にとって初の全国規模の大会ながらも、強敵相手に戦い抜きました。

小学5年生から卓球を始め毎日のように福祉・児童センターで練習していた本田さん。負けず嫌いな性格で、相手が大人でも諦めず挑み続けました。第二中学校時代は部活動の他、卓球クラブでも特訓。2年生のときには部活の団体戦で関東大会に出場するなど、着実に実力を付けてきました。

高校は県内の強豪校に進学し、周囲の高いレベルに圧倒

されるも、「誰よりも強くなる」と闘志を燃やし、部内トップの実力者へと成長。そして全国への切符をかけた今年2月の県大会では、これまで敗れたことのある相手との再戦の連続でしたが、二度は負けないう強い気持ちでリベンジを果たし優勝を飾りました。

そんな本田さんのプレースタイルは超攻撃型。日頃の練習で磨き上げてきた精密なコントロールを武器に、強烈なショットを打ち分け、左右に振り回して得点を奪います。全国大会でも、相手を寄せ付けず快勝を続け、準々決勝に進出。そこでも序盤は自分のペースで攻め続けリードしますが、ラリー戦の得意な相手に対応され、逆転を許すと、競り合いの末に敗北。「1ゲーム取られてしまった焦りで攻めきれませんでした」と悔しさをにじませます。

一度負けてもその悔しさを糧にして成長を続けてきた本田さん。高校最後の夏を前に「今年こそインターハイに出場して一つでも多く勝ちたいです」と意気込みます。諦めずに挑戦し続けたその先には、きっと輝かしい未来が待っていることでしょう。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

—No.72—



今回の企画展は、暁斎が古今東西の歴史上の人物たちを描いた作品を展示しています。今月紹介する郭子儀(697~781)は、中国の唐代、玄宗皇帝の時に安史の乱(755~763)を平定して以来、四代の皇帝に仕えた武将です。

郭子儀は顔と名前が覚えきれないほど数多くの子孫に恵まれたといわれ、郭子儀像は子孫繁栄や長寿を象徴する画題として知られています。企画展では、完成に至るまで試行錯誤を重ねた、本図の貴重な下絵も御覧いただけます。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
~明治22年(1889)

河鍋暁斎記念美術館 開催中

企画展「古今東西暁斎人物図鑑」展 同時開催
特別展「暁斎プラスワンシリーズ37 あかつき展」

開館 = 午前10時~午後4時
休館 = 火・木曜日(祝日除く)、毎月26日~末日
ところ = 南町4-36-4
入館料 = 一般600円 高校生・大学生500円
小・中学生300円 65歳以上500円
※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください
詳細 = 同館(☎441-9780)



暁斎筆「郭子儀図」
絹本着色 軸装



詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます